

## 書道実技 試験要領 (試験時間 80 分)

1. 資料は 10 種あります。以下の①②について、① 1 点、② 2 点の計 3 点を提出のこと。指定用紙 (厚手 10 枚、薄手 3 枚) を適当に使って、時間内に書き上げてください。  
① (1)「風」は、必修です。資料 1～9 の中から 1 字を選んで、それを参考にし、「半紙一字書き作品」として仕上げてください。  
② (2)～(10)の中から 2 種を選んで、半紙に仕上げてください。
2. 各資料は古典を拡大してあります。文字の配置、大きさなどの構成は、自由に行ってください。なお、(10)については、課題文を調和体の作品として、半紙に自由に構成してください。
3. 提出作品には、「受験番号」と「資料番号」だけを数字で書き入れ (鉛筆かボールペンを使用)、姓名などは書かないこと。  
(1)「風」に関しては、資料 1～9 のうちの選択した資料番号を例にしたがって記入してください。  
〔例〕資料 7 を選択した場合 = (1) - 7
4. 提出作品は、(1) を最上部に、以下は順不同で 3 枚重ね、係員に手渡してください。  
(全員の提出が終わるまで退出できません。)

(1) 「風」必修 一字を選んで「半紙一字書き作品」として仕上げてください。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

(2) 「積雪晨飛」

(3) 「途間失地」

(4) 「殊非右軍」

(5) 「雲龍之氣」

(6) 「はつせかはふるかはのへにふたもとある／すまとしきへてまたもあひむ」

(7) 「俛仰之間」

(8) 「注水」

(9) 「並美」

(10) 「ここ此処からが新たなスタート」

此処からが新たなスタート

行数・構成は自由  
漢字をひらがなに変えてもよい